DCi-USERS MANUAL IEEE1394 2.5"/3.5"E-IDE PORTABLE HDD CASE



DCi_ USERS MANUAL IEEE1394 2.5"/3.5"E-IDE PORTABLE HDD CASE



このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

◆ 必ずお読みください ◆

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

◆ ご使用方法 ◆

第2章 ハードウエアの準備

本製品に3.5/2.5インチハードディスクを取り付ける手順を説明します。

第3章 Windows98SEへのインストール

本製品のWindows98SEへのインストール手順を説明します。

第4章 Windows2000へのインストール

本製品のWindows2000へのインストール手順を説明します。

第5章 新しいハードディスクを使う場合

ハードディスクのフォーマット及び設定方法について説明します。

■■■ 付録

付録A Macintoshへのインストール

本製品のMacintoshへのインストール手順を説明します。

付録B トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します

付録C 仕様

本製品の仕様について説明します

《マニュアル内の表記について》 本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。 区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Ver.1.0

目 次 🖛

第1章	はじめに
	1. IEEE1394概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	2. 製品概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	3. 特長 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	4. 推奨ハードウェアおよびOS ······3
	5. 梱包内容について ······3
	6. 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第2章	ハードウェアの準備 ····································
	1. 本体に3.5 " HDDを取り付ける · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	2. 本体に2.5 " HDDを取り付ける ·····9
第3章	Windows98SEへのインストール
	1. PCへの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
	2. インストールの確認 ·····12
	3. ドライブ取り外し時の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
第4章	Windows2000へのインストール
	1. PCへの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
	2. インストールの確認 ・・・・・・16
	3. ドライブ取り外し時の注意 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第5章	新しいハードディスクを使う場合
	1. Windows98SEの場合 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	2. Windows2000の場合 ·····28
付録A	Macintoshへのインストール
	1. ドライバのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
	2. RX-35Fとコンピュータの接続 ······34
	3. インストールの確認 ······34
	4. ドライブの取り外し · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	5. ドライバの削除 ······35
付録B	トラブルシューティング ····································
付録C	仕様

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

1. IEEE1394概要

IEEE1394は、FireWireとしてApple Computer Incが開発した高速 シリアスインターフェイスを米国IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers)で規定した新しいインターフェイスです。

通信速度は400Mbpsと高速で、最大63台までのデバイスを接続 する事ができます。各デバイス間のノードは最大で4.5mまで可能 です。ホットスワップ、シンプルなコネクタ形状(光ファイパを 除くコネクタ形状は、4ピン、6ピンの2種類しかありません)など 現在のインターフェイスになくてはならない機能をサポートして います。接続形態は、SCSIのようにデイジーチェーンで各デバイス を接続する事も可能ですがリピータを介してツリー状に接続する など柔軟性のある接続が行えます。



特長の一つにアイソクロノス転送のサポートがあります。これは、 デジタルビデオカメラや、デジタルオーディオなどからの動画や 音声の情報を途切れずに再生する必要のあるデバイスに有効な 転送方式です。又、IEEE1394は、プリンタやデバイスベイ、家庭内 LANなどの用途でも期待されています。

2. 製品概要

本製品はIEEE1394インターフェイスを搭載したIBM PC/AT互換機上 で使用可能なポータブルハードディスクケースです。ノートパソコン およびデスクトップ用の3.5 "/2.5 "ハードディスクドライブを 使用することができます。増設に伴い不要になったハードディスク などを有効に活用することができるようになります。

3. 特長

IEEE1394-1995、IEEE1394a(Version2.0)に準拠。 最大400Mbpsの転送レートをサポートしています。 2つの6ピンIEEE1394ポートを装備し、RX-35Fを含め他の IEEE1394機器を、デイジーチェーン接続できます。 市販の3.5 "/2.5 " IDEハードディスクドライブに対応。 プラグアンドプレイ機能に対応しています。 軽量コンパクトなケースを採用 ハードディスクドライブ冷却用のファンを装備。 ステータス確認用のLEDを装備。 狭いスペースでも使用できるよう縦置きも可能。 それぞれのポートに最大500mAの電流を供給します。 それぞれのポートに荷電流防止機構を備えています。 63台までのIEEE1394機器の接続をサポートしています。

▲ 注意

本製品は、セルフ電源モードで動作します。必ず本製品に付属の ACアダプタを使用してください。



図1-2 本製品の接続例

4. 推奨ハードウェアおよびOS

IEEE1394インターフェイスを装備したIBM PC/AT互換コンピュータ Windows98SE(セカンドエディション)、Windows2000

Windows98SEインストーラCDROMが必要です。

5. 梱包内容について

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

RX-35F本体

このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまで お問い合わせください。



前面図





<LED>

通電中は緑色に点灯します。IEEE1394ポートもしくはIEEE1394 デバイスに異常があるときは点灯しません。

<IEEE1394ポート>

6ピンのIEEE1394ポートを2ポート装備しています。一方のポート は、PCとの接続に使用し、余ったポートはデイジーチェーン接続に より、他のIEEE1394機器を接続できます。(PCへの接続はどちらの ポートでも可能です。)

背面図



<品番>

本製品の製品型番です。

<シリアル番号>

本製品のシリアル番号です。製品外箱に記載されているものと同じ 番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時など にサポートを受ける場合にも必要になります。

第2章

ハードウエアの準備

本章ではハードディスクの取りつけ方法について説明します。

本製品は、デスクトップおよびノートパソコン用の内蔵ハード ディスクとして使用されている3.5インチおよび2.5インチのIDE タイプのハードディスクドライブ(以下3.5 "HDD、2.5 "HDD)を 使用する事が可能です。

3.5 "HDDを使用する場合は1を、2.5 "HDDを使用する場合は2を それぞれ参照してください。

▲ 注意

- ・ハードディスクの取り扱いには、注意が必要です。ハードディスクに 付属のマニュアルを参照してください。
- ・ハードディスクは、必ず下記の図のように持ってください。ディスク を損傷する恐れがあります。



1. 本体に3.5" HDDを取り付ける

1.本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き 上げるとカバーが外れます。



ケースの中蓋を外して中に入っている付属品を取り出します。
 3.5 "HDDを使用するときは幅の広い40pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。



- IDEケーブルの赤いラインが本製品の40pinIDEポートの1番ピン (基板上に「1」と印刷されている側)にくるようにケーブルの 一方を取り付けます。
- 4.本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、3.5 " HDDの 40pinIDEコネクタの内側(電源コネクタ側のpin)にくるように 取り付けます。(3.5 " HDDを搭載したとき、ドライブの腹の部分 が上を向くようになります。)

HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。(WesternDigital製はSingle設定)

- 5.電源コネクタを取り付け3.5 "HDDをケースに収納します。
- 6.3.5 "HDD側面のねじ穴をケース側面のネジ穴に合わせて付属の ネジで固定してください。

以上で準備は完了です。

2. 本体に2.5" HDDを取り付ける

1.本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き 上げるとカバーが外れます。



2.ケースの中蓋を取り外して、中に入っている付属品を取り出します。
2.5 "HDDを使用するときは幅の狭い44pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。



- BEケーブルの赤いラインが、本製品の44pinIDEポートの1番ピン (基板上に「1」と印刷されている側)にくるようにケーブルの一方 を取り付けます。
- 4.本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、2.5 "HDDの 44pinIDEコネクタの内側(Master/Slave設定pin側)にくるように 取り付けます。

HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。

5.使用する2.5 " HDDの底面のネジ穴とケースの中蓋の保護シート の貼ってある面のネジ穴をあわせて付属のネジで固定します。 (2.5 "HDDのコネクタのある面が中蓋の穴の空いた方向を向くよう 取り付けます。)

以上で準備は完了です。

Windows98SEへのインストール

本 章では、本製品のWindows98SEへのインストール手順を 説明します。

1. PCへの接続

本製品はホットプラグをサポートしています。PCと本製品の電源 をオンにしたまま接続することが可能です。また、事前にデバイス ドライバ等をインストールする必要はありません。Windows98SE に標準搭載されているドライバで動作可能です。

- 1.PCの電源を入れてWindowsを起動してください。
- 2.本製品の電源をオンにしてハードディスクを起動してください。 正常に起動し動作していれば、本体上面の「pci」ロゴがグリーン に点灯します。
- 3.本製品のどちらか一方のIEEE1394ポートを、PCに搭載されている IEEE1394ポートに接続してください。ハードディスクが自動的 に認識され、[マイコンピュータ]のドライブの一覧に本製品の ドライブのアイコンが表示されます。

以上でドライブが使用可能な状態になります。

🛕 注意

ハードディスクヘアクセス中に、IEEE1394ポートからケーブルを 抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようにしてください。 ハードディスクが破損する恐れがあります。

新しいハードディスクおよびパーティションを設定していないハードディスクを使用 する場合は「第5章 新しいハードディスクを使う場合」をご覧ください。

2. インストールの確認

1[マイコンピュータ]の中の[コントロールパネル]を開いてください。

- 2[システム]を開き[デバイスマネージャー]タブをクリックして ください。
- 3[コンピュータ]以下の一覧のなかに[SBP2]プロトコルと[ディスク ドライブ]のツリーに[LSILogic SYM13FW500-Disk]ある事を 確認してください。

22.53.657677 金絵 575/27ポージギ ハードウェア プロウィイル パウォーモンス	×
の種類に表示の (*####に表示の)	1
70/17-09 更新知 約時間 印刷版	I
08 4+5±4	j

これらのアイコンが表示されない、またはアイコンに「?」や「!」の マークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了 していません。

 一度ケーブルを抜き差しして再認識させるか、「LSILogic SYM13FW500-Disk」をクリックしてハイライトさせ「削除」ボタンをクリック してください。その後、第3章の手順に従って再インストールを 行ってください。

3. ドライブの取り外し時の注意

本製品はホットプラグをサポートしており電源オンのまま取り 外すことが可能ですが、以下の操作を行うことにより安全に取り 外すことができます。

- 1[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開いてください。
- 2[システム]を開いて[デバイスマネージャー]タブをクリック してください。
- 3[ディスクドライブ]のツリーの中の[LSILogic SYM13FW500-Disk] をクリックしハイライトさせ「削除」ボタンをクリックしてください。

ステムスプロパティ マボ 金融 - デンドスマネージャ ハードウェア プロフィイル パフォーマンス
使取に表示() 「 神話に表示()
■ コンピュータ R
* 10 434-7-57579 1: 13 //-F ディスクエルトローラ 1: 13 /01ビーディスクエルトローラ アロバティ20 更新20 新算410 は第936-
0K ##2/5/4

4[LSILogic SYM13FW500-Disk]のアイコンが消えたらケーブル をPCから取り外してください。

第4]

Windows2000へのインストール

本 章では、本製品のWindows2000へのインストール手順を 説明します。

1. PCへの接続

本製品はホットプラグをサポートしています。PCと本製品の電源 をオンにしたまま接続することが可能です。また、事前にデバイス ドライバ等をインストールする必要はありません。Windows2000 に標準搭載されているドライバで動作可能です。

- 1.PCの電源を入れてWindowsを起動してください。
- 2.本製品の電源をオンにしてハードディスクを起動してください。 正常に起動し動作していれば、本体上面の「pci」ロゴがグリーン に点灯します。
- 3.PCに搭載されているIEEE1394ポートに接続してください。ハード ディスクが自動的に認識され、[マイコンピュータ]のドライブの 一覧に本製品のドライブのアイコンが表示されます。

以上でドライブが使用可能な状態になります。

▲注意

ハードディスクヘアクセス中に、IEEE1394ポートからケーブルを 抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようにしてください。 ハードディスクが破損する恐れがあります。

新しいハードディスクおよびパーティションを設定していないハードディスクを使用 する場合は「第5章 新しいハードディスクを使う場合」をご覧ください。

2. インストールの確認

- 1[マイコンピュータ]の中の[コントロールパネル]の[システム] を開いてください。
- 2[ハードウエア]タブを選択し[デバイスマネージャ]ボタンを クリックしてください。
- 3[デバイスマネージャ]の一覧の中の[ディスクドライブ]のツリー に[LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394 SBP2 Device]ある事を確認してください。



これらのアイコンが表示されない、またはアイコンに「?」や「!」の マークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了 していません。

ー度ケーブルを抜き差しして再認識させるか、[LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394 SBP2 Device]をハイライト 表示させ、デバイス名を右クリックして[削除]を選択してください。 デバイスを削除してから再度「1.PCへの接続」の方法で再度イン ストールしてください。

3. ドライブの取り外し時の注意

本製品はホットプラグをサポートしており電源オンのまま取り外す ことが可能ですが、以下の操作を行うことにより安全に取り外す ことができます。

1.Windows画面右下のタスクトレイ内の「ハードウエアの取り外し または取り出し」を開いてください。



2[ハードウエアの取り外し]ウインドウが開き、停止可能なデバイス 一覧が表示されます。[LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394SBP2 Device]をクリックしハイライト表示させて「停止」 ボタンをクリックしてください。

גרייסברוסעראלע ברי ר איז דער איז דער איז געראין און איז דער איז געראין איז געראין איז געראין געראין געראין איז געראין גערא	1
第四株オデバイスを載用してきまたものからしていたない。取つ外しの含金の検証された らエビュータからデバイスを取り掛していたない。	
/1-P217 5/5(3/4)	l
ESE LOGIE SYMTEMULE-USEK DROVE BEEF 1994 SEP2 Device	
	l
LSI Lagic SYMIOFIMSIO-DESK DRIVE IEEE 1094 SEP2 Device (LUN 0)	l
and an I man	
	l
□ 町分え 12様~和2時表示する20	l
ロータスクリーに 別の外し3 アイエルを表示するの 間(おん)	

3[ハードウエアデバイスの停止]ウィンドウが開き、デバイス停止 の確認を促します。よろしければ「OK」ボタンをクリックして ください。



4.「'LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394SBP2 Device ' は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示された ら「OK」ボタンをクリックしてケーブルを取り外してください。

n-POER	14約55し 図
٢	151 Latic SYM13FW600-DBK 0/RVE IEEE 1304 SBP2 Device' (JEE)803899/14522/PC#8/r4.
	OK

第5章

新しいハードディスクを使う場合

本 章では、購入直後のハードディスクを最初に使う場合の方法 について説明します。

1. Windows98SEの場合

▲ 注意

FDISKでの操作を誤ると現行で使用中のハードディスクの内容を 全て失うことになりますので、FDISKの操作には十分ご注意ください。 FDISK実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

 Windowsを起動し、デスクトップのタスクバーから「スタート」 ボタンをクリックして表示されるリストから「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックしてDOSプロンプトウインドウ を起動してください。

2.コマンドプロンプトから「FDISK」と入力して「Enter」キーを 押してください。



3.「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示され ますので、2GB以上の容量のハードディスクを使用する場合は 「Y」を選択してください。

[gini-bos カン가 - Folix -
512 絶対上のディスクがあります。このパージョンのWindowsでは、大智量のディスク のサポートが例れられ、ディスク環境を有効に優えるようになりました。2 値以上の ドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。
■要:大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブ を作成した場合。(2000オペレーディング システムを使ってこの新しいドライブに アクセスすることはできません。(inclosen SD-E MicAve MiX-MEDOVI-ジョン)。 以前のパージョンの利indexeにと思う005を含む)、また、FAT32ファイルシステム 用に説明されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。 このディスクで目がののオペレーディングシステムや以前のディスクユーティリティ にアクセスする必要がある場合。大容量ドライブのサポートは使用しないでください。
大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(YAN)

4.「現在のハードディスクドライブを変更」を選択してください。



5.接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されますので、 「使用」が「%」になっているドライブを選択してください。

j#6-005	78/7	⊢ - FDBIC						
Reh	-	000 (m)	[] #	7 A				
			現在のハ	ードディ	スクドライ	(ブを変更		
		Mn'40 1540	59	958) 1005				
		813						
	딸	・11148578 イスクドラ	나라 말.	書を入力	してくだき	tu (1-25	 1	
FD19	にオフ	99 a D G	Reis	Esc 4-	を押して	くだまい.		

6.「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択して「基本 MS-DOS 領域を作成」を選択してください。ドライブのチェック後「最大サイズを割り当てますか」と確認画面が表示されますので、ハードディスクの全領域を確保する場合は「Y」を選択してください。

5mi-cci 71/7F- KOBK
MS-DOS 編城または論理 MS-DOS ドライブを作成
親庭のハードディスク:注
次のうちからどれか違んでください。
1、基本 MS-008 環境を作成 2、初美 MS-008 環境を作成 3、拡張 MS-008 環境内に講躍 MS-008 ドライブを作成
どわか選んでください: [1]
FD19K オブションに読るには Eac キーを押してください.

- 第5章
- 7.設定が終了したら「ESC」キーでFDISKを終了してください。
- 8.コマンドプロンプトに戻るので、「EXIT」と入力して「Enter」キー を押してください。コマンドプロンプトが終了します。
- 9.コンピュータを再起動してください。

10.コンピュータが再起動したら、「マイコンピュータ」を開いて ください。ドライブ番号が一番下位のローカルディスクが、 本製品に取りつけられたハードディスクです。各ドライブアイコン の下の「()」の中に書かれているのが、ハードディスクのドライブ 番号になります(図の例では「E:」ドライブになります)。



11.アイコンをクリックして反転表示させ、マウスの右ボタンを クリックしてください。

 3 円 420 (単) 3 戸 420 (単) 3 戸 420 (単) 3 戸 520 (単) 3 戸 520 (単) 3 戸 520 (単) 	nance anchi and the second	19 AUTH 10 E3 10 E3 10 E13 10 E13	× 団 瞬 元の(
Control C		2 20 2 2 2 44 72 54	100200-900 1002000-900 100200-900 100000-900 100000-900 100000-900 100000-900 100000-900 100000-900 100000-900 10000000000	40
	289547.0	編集:20045. 音道	5(1)(2-9)	

12.メニューから「フォーマット」を選択すると以下のウインドウが 表示されます。「通常のフォーマット」をチェックして「開始」 ボタンをクリックし、フォーマットを開始してください(フォー マットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)。



13.フォーマット終了後、ハードディスクが利用可能になります。 以上で作業は終了です。

2. Windows2000の場合

▲ 注意

[ディスクの管理]の操作を誤ると現行で使用中のハードディスクの内容を全て失うことになりますので、[ディスクの管理]の操作には十分ご注意ください。[ディスクの管理]実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

[ディスクの管理]の操作の詳細に関してはWindows2000の解説書等をご覧ください。

- 1. Windowsを起動し[コントロールパネル]の[管理ツール]の [コンピュータの管理]アイコンをクリックしてください。
- 2.画面左側の[ツリー]の一覧の中の[ディスクの管理]をクリック してください。コンピュータに搭載もしくは接続されているドライブ の一覧が表示されます。

020## 0-5#	ALC: N	1000	10.0	12-10-044	1	100	1000	275 11
0+C+C+-7	F .							
Alternation of the second seco								
CONCERNING INCOME.	*1						_	
-DU730-04	10.000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.0000 × 10.000	100	1.00					
		din.						
	an Carlos e Second Carlos Materia	445						
		Tech In-tec	10					
	the second se							

3.フォーマットされていないハードディスクを接続すると画面下の ディスクの一覧に「未割り当て」と表示されます。(画面では "ディスク1")この黒い枠のなかにポインターを移動して右クリック してください。メニューが表示されるので、[パーティションの 作成]を選択してください。

Distance in the second s								808
	A C C d	10 21 10 1 21 10 1	141	15-10-004	100	100	10000	Distance in the
100 5164/9-5 2014/04/04/0 2014/04/04/04/0 2014/04/04/04/04/04 2014/04/04/04/04/04 2014/04/04/04/04/04 2014/04/04/04/04/04/04/04/04/04/04/04/04/04			- 980					
O'DOME.	xi						_	X
		140	8.7					
	40. Notes 1 1000 1000	d'as	2					
	10. Contra 10.00 10.00	Last.		-topener:	1			
			1	478 478			2	
	In subscription	WE PLAN	0					
10-1 BC/2 B//	000-0	General		524-1084	See.	1004		Lad we

4[パーティションの作成ウィザードの開始]が起動します。[次へ] をクリックしてください。



5[パーティションの種類を選択]のウィンドウが開きます。作成 するパーティションの種類をラジオボタンで選んで[次へ]を クリックしてください。(ここでは「プライマリーパーティション] を選択します。)

ハーラインシスの目的を取り 内核するバーラインシンの種類を推定していたらい	L	N.
作成するバーティン式の種類を描んでに見て		
C 10817-3-01010		
C (4715273)		
・ 10月 フライマロノトーティンにはパーシックデス20 Windows 2000 と目的アメリーティアメア シンロンティングには最高し、当ていたがらら ーティンのととう 2010年2月11 - ディンのと目的	Langebleter Holl, Thing, John 1 4778, Million (M. 1997), Anna (M. 1997), An	

6[パーティションサイズの指定]のウィンドウが開きます。使用したいサイズを入力して[次へ]をクリックしてください。(ここではドライブすべてを使用します。)

パーティシンとの目的なパード パーティシンと、サイズの数定 パーティシングサイズを取んでの25%。	• CUE
パーティンピオサイズは、最大ディスタ	4/12/2014/08/18/18/2014/18/18/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/
截天于(25)建地	1215 MB
最小ディスク構築	7 MS
(世界学るディスジ織物(法):	1214 ± M9
	(原を担) 201800 年の2世を

7[ドライブ文字またはパスの割り当て]のウインドウが開きます。 指定したいドライブ文字またはドライブパスを入力して[次へ] をクリックしてください。(ここではE:ドライブとして割り当てます)

Kーラムの広告的はないゲード F9-1 プス学校会社内になる時期 話で ドライプス学校会社内になる時期 話で ドライプス学校会社内に対しての後代ーラムの広告部 話であす。
(#8@) 264800 Kepta

8[パーティションのフォーマット]のウィンドウが開きます。フォーマットしたいファイルシステム、アロケーションユニットサイズ、ボリュームラベルを入力して[次へ]をクリックしてください。 (ここではすべてデフォルト設定で行います。)

パーチィンシル作用のパチード	0
パーラインのようなショーマット パーラインのとないーマットをたたかでくどできます。	
28/5-9/02/42#-19/428/28488 C 26/1-9/02/42#-19/428/28 C 26/1-9/02/82/TONRE28=1	82089 1974502
- 24-201 使用する2+1/4-52352/25 202+542-222+5423(2) 約3-45-5424(3) 「 243-74-755484(3)	1975 王 月1日日 王 月1日日 王 月1日日 王 月1日日 王 1975
	<(RN8) 264822 Rec/06

9[パーティション作成ウィザードの完了]ウィンドウが開きます。 [完了]ボタンをクリックするとハードディスクのフォーマット が始まります。

フォーマットが終了するとディスクが使用可能な状態になります。



以上で作業は終了です。

32 新しいハードディスクを使う場合

付録A

Macintoshへのインストール

章ではコンピュータへのドライバのインストレーション方法 および本製品のコンピュータへの接続について説明します。 Power MacintoshにMacOS 9.0以降が正しくインストール されていることを確認してください。MacOSのインストール方法 についてはMacOSのマニュアルを参照してください。

1. ドライバのインストール

- 1.本製品に付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに セットしてください。
- デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されたら、アイコンを ダブルクリックしてCD-ROMの内容を参照してください。
- "Formedia FireWire RBC Driver ""Formedia FireWire HD Driver " の2つのファイルをドラッグして[システム]フォルダ内の[機能 拡張]フォルダにドロップしてください。



4.コンピュータを再起動してください。

2. RX-35Fとコンピュータの接続

1.本製品の電源スイッチをONにしてください。



接続してください。 3.ディスクが正常に認識されるとディスクトップ上に下記のアイコン

2.本製品のIEEE1394ポートとコンピュータのFireWireポートを



3. インストールの確認

が表示されます。

- 1.ファイルメニューのAppleマークをクリックして表示されるメニュー から「システムプロフィール」を選択してください。
- 2.システムプロフィールウィンドウが表示されたら装置とボリューム タブをクリックしてください。以下の装置の一覧が表示されていれば本製品は、正常にインストールされています。

	Apple システム・	7074-6	
/0.2.938 088.0 1.3.5	■V #1432394+4 V 2548-68969V ▶3-45-605620 ▶59		-
Firevere 2.2.3 Pall AFA 3	\$60%,1946	(ayattin /104-8 80.81/17/ 8-65)
ABLATA 1	\$8=1 n=1943.9	-• <u>-</u> ~	
	#23#47 <u>}</u> #4270-18-9	- 1943914	
			4 1 1

4. ドライブの取り外し

- デスクトップ上のRX-35Fハードディスクをドラッグしてゴミ箱 にドロップしシステムからアンマウントしてください。
- 2.本製品からケーブルを取り外してください。

▲ 注意

システムから本製品をアンマウントせずにケーブルをコンピュータ から取り外すと以下のメッセージが表示されます。

「FireWireディスクからの応答がありません。問題を解決しないと ディスクの内容が壊れる可能性があります。」

この場合、再度ケーブルを挿しなおして下さい。

5. ドライバの削除

- 1[システム]フォルダ内の[機能拡張フォルダ]を開いて "Formedia FireWire RBC Driver" "Formedia FireWire HD Driver"の2つの ファイルをドラッグしてゴミ箱にドロップしてください。
- 2.コンピュータを再起動してください。





付録B

トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合は、以下の点を確認してください

Q.デバイスマネージャーの画面でドライバに「!」マークがついて しまってうまく動かない

ACアダプタを接続しているか確認してください。(本製品は 必ずACアダプタが必要になります。)接続していない場合は、 一旦外してからACアダプタを取りつけて、再度コネクタに セットしてください

Q.ドライバを組み込んだがドライブが認識されない 新しく用意したハードディスクは領域確保とフォーマットを 行う必要があります。第5章を参考に設定を行ってください。

Q.IDE(UltraATA)接続と比べてコピーのスピードが遅い 製品の仕様上、IEEE1394接続の場合はIDEよりも転送速度は 遅くなります。

仕様

<規格>

IEEE1394-1995、IEEE1394a(Version2.0)準拠

<コネクタタイプ>

IEEE1394コネクタ×2

<対応ドライブ>

2.5/3.5インチハードディスクドライブ

<ファン>

冷却ファン×1

<LED>

電源投入時「PCI」ロゴ点灯

<入力電源>

外部ACアダプタ DC 12V

<外形寸法>

125W × 40H × 240D mm

<動作温度>

0~40

<動作湿度>

35~85%

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、 一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイアル : 0120-415977

FAX: 03-3256-9207

受付時間

月曜日~金曜日(祭日は除く)

10:00 ~ 12:00 · 13:00 ~ 17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを

下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

http://www.planex.co.jp/

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

© Copyright 2000 PLANEX COMMUNICATIONS INC. All rights reserved.

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご 記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行 FAX:03-3256-9207

会社名		
部署名		
名前		
電話	FAX	
E-MAIL		

製品名	IEEE1394 2.5"/3.5"E-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35F
製造番号 Serial No.	

ご使用の	メーカー			
と使用の パソコン	型番			
について	その他使用中の	カード(SCSI/Sound Card等)	IRQ	I/O ADDR

質	問	内	容
---	---	---	---

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の 正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無 償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象とな ります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご 了承願います。なお、弊社はセンドバック方式をとらさせていただい ております。故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送して いただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1.ユーザー登録を行っていない場合

2.購入日が明記されていない場合

3.取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合 4.お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合 5.火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。 保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■免責事項 ■

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状 と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。 ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社 では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損 失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

-							
	保証期間 Warranty	西暦	年	月	日より	1	年間
	製品名	16661394	2.5"/3.5	"E-IDE P	ORTABLE	HDE) CASE
	型番 Product No.			RX-35	5F		
	製造番号 Serial No.						

個人使用	個人使用 法人使用(チェックしてください。)			
個人でご使用	を用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。			
フリガナ				
会社名				
(個人名)				
部課名				
フリガナ				
担当者名				
フリガナ				
住所	□□□-□□□□ 都府 道県			
電話	内線			
FAX				
E-MAIL				

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願 いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製 品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報 を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポート をお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユ ーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

http://www.planex.co.jp/

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終 ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項 をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザ ー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要 はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考に してください。

"製造番号"には、パッケージ側面に貼られているバーコードシ ールの"S/N"または商品裏側に記されている内容をご記入くだ さい。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

郵便はがき

お手数ですが 切手を貼り ポストに ご投函下さい。

切い取い

谿

101-0041

東京都千代田区神田須田町1-7 ウイン神田高橋ビル5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦	年	月	B	
製品名	IEEE1394 2.5"/	′3.5"E-IDE	PORTABL	E HDD CASE	
型番 Product No.	RX-35F				
製造番号 Serial No.					
個人使用 法人使用(チェックしてください。) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。					
フリガナ					
会社名 (個人名)					
部課名					
フリガナ					
担当者名					
フリガナ					
住所					
電話	_		_	内線	
FAX	_		_		
E-MAIL					

切り取り線